

神戸学院大学 中期行動計画 実行計画(第4層) 2013年度達成度評価表 分野:研究

		評価	理由
中期計画	1 研究環境の整備と充実		
実行計画	(1) 研究の質と資金の効率配分に意を払いながら、研究設備・施設の充実を図る。	C	研究設備・施設の充実に対し、全学的な方針のもとに整備・充実しようとする方向性が現状では見えていない。
	(2) 研究費の適正使用を遵守する体制をより強化する。	B	各学部・研究科では、研究費の適正使用を遵守するための方策を取ってはいるが、バラバラ感を否めない。今後は、大学として統一した方針に従った取り組みが必要である。
	(3) 研究所設置に向けた制度的検討を行う。	C	研究所設置に向けた制度設計を行うという施策に対し、その手段となる計画に地域連携、社会連携の進展はみられるが、研究所設置に向けた制度設計という点からの計画は見られない。
	(4) 知的財産の創出の強化を図るとともに、その適切な管理を遂行する。	B	「知的財産の創出の強化」についてはやや不十分な点もあるが、「その適切な管理を遂行する。」ことに対する施策は主に国際交流・研究支援センターが適切に所管している。
中期計画	2 多様な外部資金の獲得		
実行計画	(1) 科学研究費の申請数および獲得数の増加を目指す。	C	「科学研究費の申請数および獲得数の増加を目指す。」ことは重要であるが、そのための施策は各学部・研究科でバラバラに実行している状況である。大学として方針を定め、一体化した計画立案が必要である。
	(2) 受託研究・共同研究・研究奨学寄附金の獲得、増加を目指す。	C	「受託研究・共同研究・研究奨学寄附金の獲得、増加を目指す。」という計画は各学部・研究科では地道な取組を行ってはいるが、大学全体としての取組になっていない。
	(3) 外部資金獲得に向けた支援体制を強化する。	B	「外部資金獲得に向けた支援体制を強化する。」という計画について、支援体制のリーダーシップを取るのには大学である。この計画も大学としての一体感が無い。
中期計画	3 学内・学外との研究連携促進		
実行計画	(1) 学部・研究科間の研究連携推進を図る。	B	医療系3学部での研究連携の歩みは評価できる。また共同研究マッチングの取組は緒に就いたばかりだが今後期待したい。
	(2) 神戸医療産業都市構想等へ積極的に参画する。	B	この施策は人文学部人間心理学科を含めた医療・心理系学部に限らず、文系学部も含めた幅広い分野での連携が期待される。医療系3学部、研究科では着実に連携を行っているが、それ以外の学部・研究科での連携を推進する必要がある。
	(3) 企業、経営者団体、自治体等との産学官連携事業をより促進するとともに、共同研究の推進を図る。	B	各学部・研究科では種々の計画を立て実施しているが、社会連携の観点から大学としてもバックアップが必要と思われる。

評価 S:目標よりはるかに上回る、A:目標をやや上回る、B:おおむね目標どおり、C:目標をやや下回る、D:目標をかなり下回る